

令和3年3月19日
愛媛大学

令和2年度事前復興フォーラム

～えひめ事前復興、宇和海沿岸地域から愛媛そして全国へ～

愛媛県、宇和海沿岸5市町、愛媛大学及び東京大学が官学連携し、平成30年度から今年度までの3年間実施してきた「南海トラフ地震事前復興共同研究」の研究成果を広く周知するため、下記のとおりフォーラムを開催します。

本フォーラムにおいては、主要な研究成果である事前復興の推進に係る「指針」や3年間の主な「研究活動実績」等について、研究に参加した機関から紹介します。

また、「Web座談会」として、県、5市町、両大学と四国地方整備局によるパネルディスカッションを行い、各市町におけるこれまでの取組の紹介や今後の展開等について議論する予定です。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時：令和3年3月26日（金） 13：00～17：00
2. 会 場：オンライン開催（Zoomによりインターネット上で参加視聴）
3. 対 象：一般県民、自主防災組織関係者、防災士、県・市町職員等
4. 定 員：500人
5. 内 容：別添チラシのとおり
6. 参加費：無料
7. 申込方法：下記専用申込フォームからご登録ください。

登録されたEメールアドレスに「参加URL」が届きます。

https://zoom.us/webinar/register/WN_xSHZXvgyTXGFuG87YXkLpg

※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学社会連携課
防災情報研究センター（新門）
TEL：089-927-9021
Mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

令和2年度 事前復興フォーラム

～えひめ事前復興，宇和海沿岸地域から愛媛そして全国へ～

大災害に強く立ち向かうために
今から考え備えておくこと，それが「事前復興」

主催：愛媛県，宇和島市，八幡浜市，西予市，伊方町，愛南町
愛媛大学防災情報研究センター，東京大学復興デザイン研究体

日時：令和3年3月26日（金） 13:00～17:00

会場：オンライン開催（インターネット上で参加視聴できます）

参加費：無料，どなたでも参加できます（定員500名，参加登録先着順）

参加登録：https://zoom.us/webinar/register/WN_xSHZXvgyTXGFuG87YXkLpg または QR コード



プログラム：

13:00 開会挨拶
愛媛県防災安全統括部長 福井琴樹
愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮

【第1部】宇和海沿岸地域からの発信（南海トラフ地震事前復興共同研究）

13:10～ えひめ事前復興の指針（その定義と取り組み） 愛媛大学 森脇 亮

13:30～ えひめ事前復興の基盤づくり（情報，調査，教育） 愛媛大学 山本浩司

【第2部】現場から事前復興を考える

東京大学 羽藤英二

14:10～ 防災地理部～私たちのまちと事前復興を考える～ 三崎・八幡浜・宇和島東高等学校防災地理部

15:00～ 復興デザインスタジオ～事前復興の研究と提案～ 東京大学社会基盤学科

【第3部】えひめ事前復興，宇和海沿岸地域から愛媛そして全国へ

15:30～ Web 座談会：東日本大震災から10年，南海トラフ地震事前復興に取り組む

コーディネータ：東京大学 羽藤英二

パネリスト：宇和島市長 岡原文彰，八幡浜市長 大城一郎，西予市長 管家一夫，
伊方町長 高門清彦，愛南町長 清水雅文，愛媛県 福井琴樹，愛媛大学 森脇 亮，
四国地方整備局統括防災官 野本稔浩

16:50 閉会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター 特命教授 矢田部龍一

■参加登録のお申込み

標記の URL または QR コードよりお申込みフォームを開いて，氏名と居住地（宇和島市・八幡浜市・西予市・伊方町・愛南町・その他），職業（会社員・公務員・教員・自営業・農業・漁業・学生・主婦・その他），ご所属，E メールアドレスを登録してください。登録された E メールアドレスに「参加 URL」（Zoom ウェビナーの URL）が届きますので，当日はその URL からフォーラムにアクセスしてください。

■お問合せ

事務局：愛媛大学 宇和海沿岸地域事前復興デザイン研究センター TEL 0894-35-6851 / 防災情報研究センター TEL 089-927-9021
Email kensien@stu.ehime-u.ac.jp / FAX 089-927-9021 ホームページ：<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>

開催趣意

西日本には今、歴史上 100～150 年周期で繰り返す南海トラフ地震の発生が近づいています。その南海トラフ地震は近代社会において未知の巨大地震となる可能性を孕んでいます。そのため、東日本大震災から 7 年が経過した平成 30 年度から宇和海沿岸の 5 市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学防災情報研究センター、東京大学復興デザイン研究体が連携して「南海トラフ地震事前復興共同研究」に取り組んできました。

本研究がテーマとする「事前復興」とは、自然の脅威がもたらす大災害の危険性に前もって備え、それがいかに大きなものとなっても想定外としないための取り組みです。南海トラフ地震は、きわめて強い揺れと巨大津波の襲来が予見されるため、地域に壊滅的な被害を及ぼす可能性を秘めています。そのような大災害となったとき、被災地には存続の危機すらも生じます。「事前復興」は、その状況に陥ることをできるかぎり回避し、迅速かつ適切にまちの復興を遂げるための備えを構築する取り組みです。また、平成 30 年 7 月西日本豪雨では、愛媛県域にも甚大な被害が発生しました。昨今の頻発する豪雨災害においても、失われた生活の再建とまちの復興を迅速かつ適切に進めるために、「事前復興」は重要な取り組みとなっています。そして、様々な自然災害の危険性は、宇和海沿岸地域のみならず、愛媛県域そして全国各地に広く潜在しています。そのようなことから、今回のフォーラムは 3 年間の共同研究より提案する“えひめ事前復興”のかたちを、宇和海沿岸地域から愛媛そして全国へ発信する場といたします。

南海トラフ地震事前復興共同研究

南海トラフ沿いでは、これまでおおむね 100 年～150 年の周期で大規模地震が繰り返し発生し、今後 30 年以内に南海トラフ地震が発生する確率は 70～80%であるとされています。「南海トラフ地震事前復興共同研究」は、東日本大震災以上の災害ともなりうる最大クラスの南海トラフ巨大地震による大規模災害の可能性に対処するために、巨大津波災害が想定されている愛媛県の宇和海沿岸 5 市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学、東京大学が共同で事前復興デザイン研究に取り組むものです。本研究は平成 30 年度から 3 年間の予定で活動を行ってきました。

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>

事前復興センサス・Web アンケート調査にご協力ください

「南海トラフ地震事前復興共同研究」の一環として、愛媛大学と東京大学が調査主体となり、事前復興センサス・Web アンケート調査を実施しています。これは、災害からの復興の道なりと支援策等を解説しながら、大規模災害からの生活（住まい）の再建について、住民の皆様のお考えを調査するものです。調査結果は、今後の事前復興の取り組みにおける基礎データとさせていただきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

【回答方法】

※世帯（ご家庭）で 1 回お答えください。スマホからも回答できます。

※調査の便宜上、ご自身の血液型に該当する調査票（以下の QR コード）を選択してください。

※調査期間：第 2 次集計は令和 3 年 3 月 21 日（日）が期日です。

血液型 A の方の調査票

<https://forms.gle/NFvHGvraUETzGA84A>

血液型 B, AB の方の調査票

<https://forms.gle/HKWcpmXwPkRTkJ8C8>

血液型 O の方の調査票

<https://forms.gle/u2A2wzpVAVfbxSdy6>

